



広報

# かわにし

第140号 (昭和34年7月20日) 第3種郵便物認可 昭和45年4月10日 (毎月10日発行)

発行/川西町役場 編集/企画室 定価/1部5円 印刷/白南風社

人口の動き	
—4月1日現在—	
男	5,748 (-13)
女	5,886 (-3)
計	11,634 (-16)
世帯数	2,532 (-8)
( )内は前月との比較	

## 町政コーナー 待ち遠しかった春

町政コーナー

### 異常気象の 残したものの

三月にはいれば、という期待を裏切って連日の寒波、降雪、吹雪は五十年來といわれるきびしさで彼岸中も衰えを見せず、二十五日までほとんど息つく間もない厳寒の再来であった。三メートルを越す積雪のピークが三月二十日過ぎという記録も過去に見当たらない

異常気象の原因は、北極付近にあるはずの寒気団が、沿海州・オホーツク海方面に停滞していたためといわね北極が日本の方へずれて来たともいえる形なのだといふのも四月中に平地の雪がなくなることは望めない。軒先を埋めている雪のため知事選挙のポスター掲示板を設置する場所もないという状況で、最悪の場合は五月の中旬以

降まで雪が残ることも考えられる中年以上の年代には忘れることのできない昭和九年の異常寒雪と凶作が思い出される年だ。  
米の生産調整という異例の措置が講じられている折ではあるが、寒雪に伴うもうもろの春耕対策はこれとは別に促進されなければならぬ。このため町及び市農協では苗しろ、トマト、たばこ圃場等の育苗促進をはかるためケイカル四二〇〇袋を関係全農家に配布するなどの助成措置を講じ、また、個々の農家でも苗床、苗しろ用地をブル除雪する等、寒雪によるマイナス打撃に積極的な意欲を見せられている。

### 減反目標 達成のメド

米の生産調整については、町農協の減反希望が取りまとめられ四月四日に招集された第三回生産調整推進協議会に報告された。史上空前のこの措置に對してどのような数字が出るかということに大きな関心が寄せられていたが、報告された減反希望は七九・八ヘクタール。目標の八三ヘクタールに對して九六・二％という予想以上の成績であった。地区別の達成率は、仙田地区が一四五・八％と目標を大きく大まわり、次いで橋地区八三・九％、千手地区七四・四％、上野地区六三・五％の順。なお、休耕と転作の割合は休耕が八二％にあたる六五・二ヘクタールと圧倒的に多いことは予想されたとおりである。これらの数字は内容を詳細に審査することによって多少の異動が予想されるが、今後もお追加申込みが出る見込みなので、百％達成はほぼ確実と見られている。

## 行事

四月



### 緑化募金

緑の進歩、一般には今月一日から一週間でしたが、九州は一か月早い三月一日から、反対に、北海道では五月一日からとか。  
ちようと、小学校や中学校の入学式があるという四日、役場前をはじめ要所要所には、緑化募金の箱を手にした中学生が立って、道ゆく人々に協力を呼びかけていました。盛装したかあさんと歩くのがてれくさい新中学生。追いかけるようにやってきたおかあさんが募金に協力してくださいました。

新しく小学校にはいる子の手を引いたおかあさんもあとに続きました。その小学校新一年生には、十日町地区運動者協会からランドセルカバーが贈られ、こどもも春がやってきました。

推進協議会としては、これらについて検討の結果、追加希望等についてさらに四月二十日までに再調査を行ない、特に達成率三〇％未満の農家組合に對しては重点的に協力を要請することになった。最終的の数字が確定するまでにはなお曲折があるとしても、第一回でこれだけの成果を見たのは、食糧制度の順風を食いとめなければならぬという農家の危機感が予想以上に徹底していることを示している。(企画室長丸山精二郎)

- 三日 千手地区消防幹部会
- 四日 小中学校入学式、生産調整推進協議会
- 五日 千手地区婦人会役員会
- 六日 仙田中入学式、保育園幼稚園各入園式、明るく正しい選挙推進委員会
- 七日 教員面談会、民生委員推薦委員会
- 九日 損害評価員会、庁舎建築委員会
- 十日 民生委員協議会(午前九時三十分から役場で)。  
ほかに、千手農協会場に基盤整備委員会が、上野の農業センターで錦鯉組合通管総会がそれぞれ開かれる
- 十二日 上野地区婦人会総会  
午後一時から上野小で、記念講演は「米の生産調整について」講師左藤産業課長
- 十九日 橋地区婦人会総会が橋小で午前十時から開かれ新井石龍先生の講演を予定
- 二十六日 県知事選挙投票日(選挙関係その前、十九日に選挙管理委員会、二十二日に投票事務打合せ会を予定している。)
- 二十九日 仙田地区婦人会総会(仙田中午前九時から)の予定、講演は中越社教員長(川原二氏)、千手地区婦人会総会(午後一時から千手小で、講師未定)

# 一般会計の規模は四億四千万円

## — 新年度予算が成立 —

一般会計四億四千三百三十三万八千円、ほか五つの特別会計の合計二億一千四百五十五万一千円、合わせて六億五千七百八十八万九千円、一般会計・特別会計間の繰出し・繰入れを整理すると、実質六億三千五百五十五万五千円という巨額の新年度予算が成立した。

昭和四十五年度の予算などを審議する議会三月定例会は十日に招集された。本会議はこの日と十一日の両日で行ったん休会、その後十三日から十九日まで議案付託を受けた各常任委員会の審議を行なった。そして、本会議を再開した二十六日冒頭に委員長報告があったのち、前出のような予算が成立したのである。なお、この定例会は、本会議再開二日目の二十七日で、十八日間に及んだ会期の幕を閉じている。

定例会の議案は、いずれも予算と予算に関連するものなので、近く「町政のひろば」で特集してお知らせすると、以下、審議の結果のみをお伝えする。

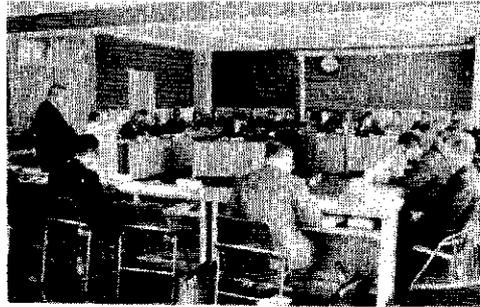
### 社会福祉面

#### を充実

○固定資産評価審査委員会委員の選任(江口初太郎氏の再選任に同意)  
○議員の報酬及び費用弁償に関する条例制定(原案とおりの可決)  
○非常勤特別職の報酬及び

費用弁償に関する条例制定(同)  
○証人等の実費弁償に関する条例

人見舞金支給条例の制定(同)  
○重度心身障害児扶養手当支給条例の制定(同)  
○税条例の一部改正(同)  
○分担金条例の一部改正(同)  
○特別職の給与及び旅費額並びにその支給方法に関する条例の一部改正(同)  
○消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正(同)  
○国民年金印紙購買基金の設置、運営、及び処分に関する条例の一部改正(同)  
○職員勤務時間に関する条例の全部改正(同)  
○農業共済条例の一部改正(同)  
○新潟県消防団等公債組合理約の全部改正(同)  
○新潟県交通災害共済組合を組織する地方公共団体の数の増加及び規約変更(同)  
○農道芝罅線の開削に関する請願(採択)  
○低温倉庫建設事業に関する請願(同)  
○政府食糧長期保管倉庫建設費助成に関する請



→三月定例会の様相

制定(同)  
○職員の旅費支給条例の制定(同)  
○敬老祝金支給条例の制定(同)  
○ねたきり者

### 処理の済んでいない

#### 道路除雪の被害は

冬期間、道路を確保するため機械力による除雪を実施した際、沿道のみなさんや通行中のかたがたにたいへんご迷惑をおかけいたしました。

長い雪の間の協力に深く感謝いたします。除雪による損傷に対してはできるだけ早急の処理をまいりました。しかし、漏れ落ちがな

いとはかりは断言できないうえこの雪解けとともに、新たに発見された被害もあるかと存じます。ついでに、それら未処理の損害がありましたら、今年三十日までに地区の道路除雪協力員、あるいは、土木課まで申し出られるようお願いいたします。(土木課)

願(同)  
○赤谷種豚育成豚放牧場建設に関する請願(同)  
○小千谷・千手・十日町線高厚田地内歩道新設に関する請願(同)  
なお、特別会計の各予算規模は農業共済二千四百八十二万三千円、国保事業助定一億六千六百万二千円、同施設助定一千八百八十二万七千円、へき地診療所五百六十一万二千円、簡易水道六千四百六十二万七千円、以上である。

### 国保の保険料

#### 一四%程度の伸びに

ご承知のように、四月から八月までの国保の保険料は、暫定賦課というカタチでみなさんから納めていただくことになりました。これは、保険料を算定する際、基準のひとつになっていいるみなさんの前年所得が、町民税の確定するのを待たなければ算定できないという事情によるもので、したがって、町民税の決まりしだい、六月ころから本算定にはいるという

通例になっています。暫定賦課の方法は、ことしの場合なら、前年度すなわち四十四年度の賦課総額に対することしの賦課総額の伸び率を、みなさん個々の前年度保険料にそのまま当てはめて割り出します。そして、九月からは、この暫定賦課によって徴収する額と、本算定によって決定する保険料とを差し引いた額で納めていただくわけです。

### くみ取り料を改定

#### 一八〇リットル二七〇円に

今月一日から、し尿くみ取り料金を改定いたしました。新しいくみ取り料金は十八リットルで二十七円、百八十リットル(約一石)二百七十円です。これは、いままでの料金に比べて十八リットル当り三円の値上げということになります。



① 年を通じて四月は気温上昇の割合がいちばん大きいといわれます。真日本と表日本の

気候の差は縮まり、全般的に薄曇りの日が多く、空気が乾燥して、時おり強い南風が吹き荒れます。昔しろの準備や雪消えを待っての野菜の種まきと、これからは忙しくなります。また、五月のゴールデンウィーク、あるいは、花見にとさわがしくもあります。② 十九日から環境衛生週間が始まります。しかし、このように雪が多くては週間を少しすぎないという意味がありませぬ。やはり、雪消えと同時に、めいめいが一日「清掃の日」をこしらえて、家族ぐるみでカヤハエの撲滅作戦を実地に行なってみてください。まず発生源を絶つことがたいせつです。カヤハエの行動範囲はおよそ二平方キロメートルとか、したがってこれはぜひ部落ぐるみ、町ぐるみの共同作戦でなければなりません。

③ の「くらし」欄、四十二年四月に新設し、内容のおおむね日本広報協会の機関紙から拝借してきました。今回、三年日にかかったところでエンド・マークにさせていただきます。次回から農業関係のカコニでもと考えています。

(日赤七〇年国際標語)

人間を戦争からまもろう

赤十字の社員増強運動

采月八日は世界赤十字デー、赤十字の創始者アンリ・ジュナンの誕生日(一八二九年)です。ところで、日本赤十字社というところは、日本赤十字法という特別法に基づいて、社員で組織する特殊法人です。そして、赤十字条約などに定められている任務を果たすため、世界の平和に貢献し、健康の増進・疾病の予防・苦痛の軽減等を図ることを使命に、奉仕活動を続けているのです。

この日赤の新潟県支部では、今年度の事業として、災害救護・血液事業・新興国赤十字援助・青少年赤十字運動などを重点に計画しています。

これらの事業に必要な財源は、社員であるみなさんからの社費とそれに、篤志寄付のふたつでまかなわれています。

したがって、社費の増強や寄付

LPガスの事故防止

○プロパンガスは、販売許可の表示がある店から買ってください。

○あなたのいま使用している設備に異状はないでしょうか。販売店から調べてもらってください。

(新潟県商工労働部)

川西町役場 持参するもの 国民年金証書・印鑑 (国民年金係から)

農耕用の

軽油免税証を交付

1. 交付場所

十日町財務事務所税課

2. 交付の日取り(市町村別に決まられている)

川西町は、今月の二十四日・二十七日・二十八日の三日間

3. 必要なもの

△初めて交付申請をする人

○機械を取得したことを証明できる書類(納税証明書や売買契

約書など) ○農業委員会発行の耕作面積証明書 ○印鑑(共同の場合は関係者全員のもの)

△すでに交付を受けた人でまた有効期間のある場合

○免税軽油使用者証 ○印鑑

ただし、機械を新しくしたり耕作面積に変更のある場合、それぞれ

△すでに交付を受けたがその有効期限の過ぎた場合

○期限の切れた使用者証 ○そのほかは初めて申請する人の場合と同じ

4. 注意してほしいこと

(1) 必ず使用者である本人が出向くこと。やむをえない場合はその家族でもよい。

(2) 他人所有の機械を使用して

いる場合は、それを証明できる書類を持参すること。

※お題 「家」……具体的な建造物の家ばかりでなく、拍象的な家庭というものを題材にしてもよい。

※詠進要領 (一)ひとり一首限りとし、未発表の歌であること。

四十六年の歌会始

お題は「家」です

※お題

「家」……具体的な建造物の家ばかりでなく、拍象的な家庭というものを題材にしてもよい。

※詠進要領

(一)ひとり一首限りとし、未発表の歌であること。

る書類を持参すること。

(3) 免税申請は名称・型式・燃料消費量などが正確でなければならぬので、カタログを持参するか、メモをとって出向くこと。

以上 (十日町財務事務所)

(一)用紙は半紙を用い、毛筆で自書のこと。病人や身体障害のため自書できない場合、理由書を付して他人が代筆してもよい。

(二)書式は、半紙を横に二つ折りにし、右半面にお題と歌、左半面に住所、氏名(ふりがな)、生年月日、及び職業を書く。

(三)詠進の期間は、九月一日から十月十二日まで。

(四)あて先は「(〒100)東京都千代田区千代田一番一号官内庁」。封筒には「詠進歌」と書き添えること。

※その他

詳しいことは、企画室まで問合せるか、直接、官内庁式部職あてに、住所・氏名を書き郵便切手をはった返信用封筒を添えて照会すればよい。

福祉年金の給付を受けたら

その足で定時届を

五月六日に福祉年金の支払が始まります。

例年のことですが、今回の支払期は定時届をさせていただく時期にあたります。

ことしも、次の場所で定時届を受け付けますから、給付を受けたその足でおいでになってください。

五日 時

午後四時まで

二、受付場所

仙田出張所

橋出張所

上野農業センター



広報スワッチ

納税相談

納税メモ

納税組合

今月から、匝面の最下段に「納税メモ」欄を新設しました。町民のみなさんからの要望によると、この欄は、川西町納税奨励規程というのがあること、それも、実は心配ごと相談員の藤本さんを通じての要望だったのです。

藤本さんは「わたしが取り次ぐのは、ちょっと断りがちがうようだけれども……。」といながら企画室までおいでになりました。おやうと、前々号の編集にかかっていたところのことです。

「税金の納期一覧表を作って各戸に配れ。」「広報でも納期を周知せよ。」といふ要

望に、これで一つおこたえることができたわけです。ところが、あなたは、川西町納税奨励規程というのがあるのを存じてでしょうか。この規程で、組合というのは納税者十人以上で組織した

ものでなければなりません。その納税組合が、組合員の町税をとりまとめて納期内に納入した場合、奨励金を交付するという趣旨です。その、いわゆる完納奨励金は、税額百円につき三円が原

則で、組合に対しては、毎年組合員一人につき百二十円の事務費を補助します。納税組合への加入状況はというと、上野・橋・仙田は、部落組織の関係もあって全戸が加入。したがって加入を呼びかけるのは、もっぱら千手の人たちに対してです。もしも、これを覚えて

になったとき、また納税組合に加入していないようでしたら、いますぐ加入をお願いいたします。そう言ったとき、納税メモも、単なる納期のお知らせ欄でなくなり、税を納めたことを確認する欄になります。(写真は先月六日の納税相談風景)

# 26日はいつもの投票所へ

### 重要な知事選です

任期満了による新潟県知事選挙の投票日は二十六日です。すでに、告示以来句口が経過し、選挙戦は中盤から迫込みへと展開されてゆきます。

県政の最高責任者を選ぶたいせつな選挙、豪雪対策や交通対策にくわえて、今回は、米の生産調整という身近な問題等々、いつにないおおくの課題をかかえた重要な選挙です。

政見放送も十八日から始まり、二十三日まで続けられます。候補者の政見をよく聞いて、よりよい判断をくだしましょう。

う。政治にそのほを市くのは、政治を悪くする片鱗をかつぐようなものです。政治を非難する前に、まず、投票しましょう。

### 投票の要領は

#### 変わりません

投票所は、いままでとまったく同じ所に建設します。

投票時間は午前七時から午後六時まで、今回、投票時間を繰り上げるところはありません。

投票日には、旅行や勤務の関係で投票所へ行けない人は、前日の二十五日まで、役場で、不在者投票をすることが出来ます。

また、現在出かせぎ中であり、投票日までに帰れない人は、出かせぎ先でも投票をすることが出来ます。ただし、この場合は、手続の関係から日数がかかるので、必ず家族のかが、早めに選挙管理委員会まで申し出るようにしてください。



冬期分校もポスター掲示場に

また雪の多い時期、選挙の準備には、何かと苦勞が倍加する(二十七日、藤沢で写す。)

## 戸籍の窓から

### うぶ声—おすこやかに

- 五十嵐 清 新 和長男 野口
- 星名 蕪一 雄二女 沖立
- 澤田 稔 英三男 友
- 藤巻 淳子 一 弘長女 幸
- 田中 智子 久 義二女 下原
- 小林真由美 男 一長女 中仙田
- 高橋恵美子 盛 夫長女 田戸
- 井上真里子 真 長女 神社町
- 野上真雅枝 健次郎二女 上野
- 中條 節子 貞夫二女 元町
- 小川 直人 滋 二男下平新田
- 日中 和人 米 作長男発電所通

### たかさこ—こ円満に

- ◎新郎 平野 進 中島町
- ◎新婦 寒川智恵子 長 岡から
- ◎新郎 丸山 義雄 下原
- ◎新婦 中村 君江 横 浜から

- ◎新郎 星名 達夫 下平新田
- ◎新婦 吉田 悦子 小千谷から
- ◎新郎 佐藤 勝雄 小 堀
- ◎新婦 藤本 晴江 茨 城から
- ◎新郎 藤巻 宣男 塩 辛
- ◎新婦 高橋スイ子 津 南から

### 昇天—こめい福を祈る

- 相崎 留二 発電所通 四四
- 金子 武 岩 瀬 四五
- 片桐 金一 小白倉 六〇
- 高橋 カメ 原 田 六九
- 押木 恵作 元 町 七四
- 丸山 サク 新町新田 七八
- 丸山 トヲ 原 田 七九
- 桑原 ナホ 新町新田 八一
- 山田伊太郎 仁 田 八三

## 町の人事

### ▽退職／三月三十一日付

- 総務課文書係、内山早苗、商業課

農林係、丸山寛治、教育委員会事務局、丸山京子、川西幼稚園、西満ぎぬえ

### ▽配置転換／四月一日

かっこ内は旧所属  
農業委員会事務局農地係長・高橋英雄(企画室財産管理係長)、教育委員会事務局社会教育課庶務係長・馬場光雄(社会課国民年金係長)、企画室企画係・半藤伊三郎(農業委員会事務局)、総務課庶務係・小林十八(衛生係)、教育委員会事務局庶務課・水落イヅ(社会課援護係)、社会課援護係田村允伸(国土課係)、以下は課内の配置転換 総務課庶務係・小海太輔(住民係)、社会課援護係・大久保雪子(国民年金係)

### ▽昇格

一月一日付／健康管理室衛生係長・渡辺照男(衛生係)、四月一日付／総務課消防防炎係長・関口良平(庶務係)、企画室広報係長・北村準一(企画係)、社会課国民年金係長・南雲直秀(企画係)

### ▽採用／四月一日付

かっこ内は出身  
総務課庶務係・高橋信一(平山) 同住民係・川崎孝一(越ヶ沢)、産業課農林係・南雪光(東華寺) 税務課税務第二係・清水幸夫(下平新田)、国土調査課国土調査係水品文夫(三領)、同・関口真入(神社町)、同・沢口則雄(下平新田)、川西幼稚園・高山マサ(発電所通)

以上、いずれも順不同

## 納税メモ

(みなさんからの要請で納税案内ほどの意味のこの欄を設けました。月ごとに、納期のお知らせや税に關する一口メモといったものを掲載する予定です。)

今月は……  
固定資産税第一期分の納期です

来月は……  
軽自動車税(バイクや軽自動車など)の納期月です。納税組合におはりになって、計画的な納税をいたしませんか。



### かわにし 併壇

元町 田知 東洋  
太田白南風選

登りきて驚の声にたすめる  
轉の中きわだて帰けるあり  
在平加 金子 幸石

にわとりは砂浴びてをり長閑さよ  
松風園 南暮 文峯

春雪の空半月の浮き出でし  
X X X

俳句であるからとて言葉を特にひねる必要はない。心に何を感動したかが浮き出ればよい。あまり種々こね合せて判らぬ句が多い。初心者も心に感動したことはそのままの気持ちでまとめてみて下さい。返稿希望の方には多少指導の説明をつけてお返しします。

## 知事選を考える

この二十六日に行なわれる知事選挙にあたって、昨年末の総選挙のような投票率のわるさをくり返してはならない。たれでも、満二十歳になれば選挙権を持つ。これを、ほかのことでは言えない。政治を度外視した世界での生活は有りえないということになるのではない。

これまでの結果からみて、この選挙を通じて政治に参加す

## 町の声

るといふ最も根本的なこと、その意義というものがよく理解されていまいように思われ、はなはた心もとないのである。ぜひみんなで反省をしてみたい。選挙権を行使しないのは生活権を放棄するのと等しい。こんどの知事選こそ、県下一番の投票率をあげることにできるように、そして県下一の清い選挙に終始することができるよう祈っている。(係から—この投書をお寄せになったかた、氏名をご一報ください)